

施工機仕様書・輸送姿勢図

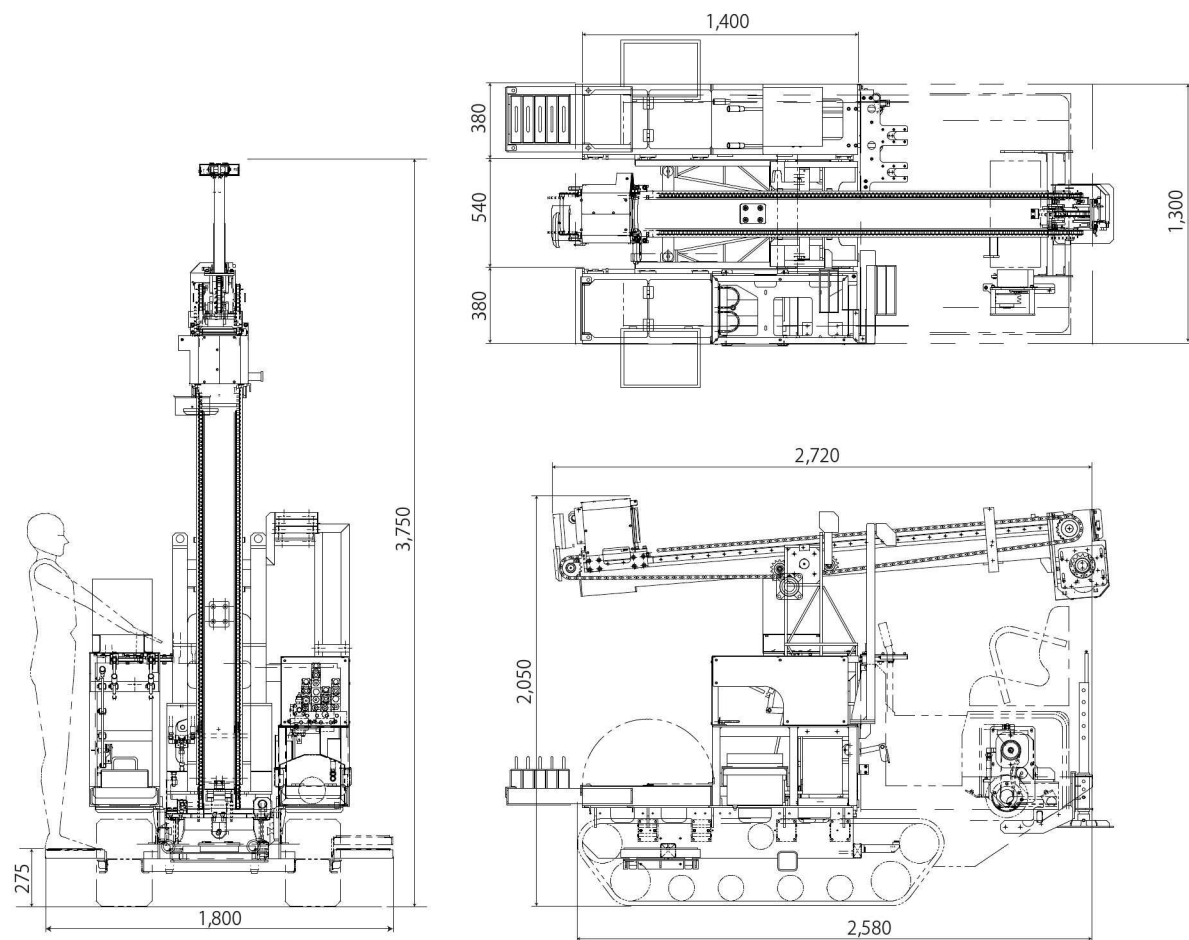
ベースマシン：ゴムローラー式キャリアダンブ

作業時概略寸法	全長3,000mm	全幅1,800mm	全高3,750mm
輸送時概略寸法	全長2,720mm	全幅1,300mm	全高2,050mm
機械質量	作業時2,200kg	輸送時2,000kg	
登坂能力	20°		

コンパクト

&

パワフル



単管パイプ規格・仕様書

使用補強材	一般構造用炭素鋼鋼管 (S T K 500) 外径48.6mm 肉厚2.4mm
	配管用炭素鋼鋼管 S G P 40 A 外径48.6mm 肉厚3.5mm
	一般構造用炭素鋼鋼管 (S T K 400) 外径48.6mm 肉厚3.5mm

お問い合わせ

■開発元

コンステックHDグループ



本社 / 富山県高岡市石瀬920  
TEL (0766) 28-1789 / FAX (0766) 28-1781  
事業本部 / 富山県氷見市上泉51  
TEL (0766) 91-6111 / FAX (0766) 91-1548  
南関東営業所 / 千葉県船橋市湊町2-1-2  
TEL (047) 436-8966 / FAX (047) 436-8967  
東京営業所 / 東京都大田区平和島6-1-1  
TEL (03) 6450-0303  
北関東営業所 / 埼玉県比企郡ときがわ町玉川208  
TEL (0493) 53-4321 / FAX (0493) 53-4327  
東海営業所 / 愛知県名古屋市西区歌里町2  
TEL (052) 908-3570 / FAX (052) 908-3571  
東北営業所 / 宮城県仙台市泉区泉中央3丁目18-1  
TEL (022) 393-8560 / FAX (022) 343-7510



<https://www.grountec.net> グラントェック

検索

S N - Ver.5

都市部地域における地盤改良工事の決定版!!

コンパクト & パワフル



# スーパースーパーナロー工法

建築技術性能証明 (GBRC 第20-08号)

超低コスト構造

ワンマンオペレート (省人化)

機械と材料の同時搬送 (搬入コスト圧縮)

鋼管杭の高速圧入 (短時間施工)

高品質施工

施工機総重量載荷 (安定した鋼管押圧力)

メッキ鋼管 (高品位鋼管杭の使用)

管理装置完備 (高水準の施工管理を実現)



コンパクト & パワフル

# スーパーナロー工法

独創の技術

「スーパーナロー工法」は従来の地盤改良機とは全く違う発想で設計されたコンパクトな施工機械で、コストを下げ、人手不足を解消することで貴社の業績に大きく貢献します。

独創の技術 | 工法その①

## ワンマンオペレート

人手不足の切り札! ワンマンオペレートで運搬から施工まで1人の施工者で可能!

独創の技術 | 工法その②

## 高速施工

安定した押圧でスピード施工  
最大押圧力18.2KN、回転併用で高速貫入可能!

独創の技術 | 工法その③

## 施工機総重量載荷方式

補強材すべてに、標準位置で12.74KNの押圧反力を行い、支持力をモニターにて確認でき、高品質施工が可能。

独創の技術 | 工法その④

## 構造物近接施工

近接構造物直近での打設も可能!  
通常重心位置にある打込中心はリーダー部分を前にスライドさせる機能により、構造物直近まで移動が可能。

独創の技術 | 工法その⑤

## 機械および材料の一括搬送

3tトラックで機材すべてを積載可能!  
施工機械2,200kg、メッキ単管 6m×45本(740kg)  
合計で2,940kgの積載。

コンパクト&パワフル | 施工機その①

## 自走搬入可

施工機クローラー全幅は1,300mm、開口が1,500mm程度あれば自走搬入や階段走行も可能。

コンパクト&パワフル | 施工機その②

## 荷揚げ搬入可

段差がある敷地は、3t積載専用運搬車両に装備している車載クレーンにて、荷揚げ搬入が可能。  
反力ウエイトを取り外した機械重量2,000kg!

コンパクト&パワフル | 施工機その③

## 幅2mの敷地でも作業可

施工機はクローラー全幅1,300mm、クローラー接地長1,450mmで幅2mの狭い地でも作業が可能。

コンパクト&パワフル | 施工機その④

## 無振動・低騒音

施工は圧入方式にて挿入する為、打撃方式とは違い周囲に振動や騒音を発生しません。

## 施工手順 (支持層貫入の場合)

1



車載クレーンにて施工機・補強材等の荷を下ろす

2



サポートアームを取り付ける

3



反力ウエイトを取り付け、打設位置付近に移動し、フレーム補強バーを取り外す

4



施工機リーダーを立てる

5



補強材を施工機に取り付け、先端掘削ビットを取り付ける

6



補強材鉛直を確認し、杭芯に鋼管中心を合わせ、アウトリガーを下げる

11



施工完了

10



仕上り高さ調整は、低位置押込用ロッドを使用する

9



通常、貫入のみで施工し、硬い層に到達した場合、回転圧入を行う

8



貫入を開始する。圧入のみで施工し、モニターにて押圧力を確認する

7



鋼管下端を地面に接地させ施工を開始する



建物が密集する  
都市部で威力を発揮!!